



特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
駐車場事業	2,655 万円	2,320 万円
国民健康保険	84 億 983 万円	82 億 4,240 万円
介護保険	63 億 4,544 万円	61 億 735 万円
後期高齢者医療	10 億 1,167 万円	10 億 1,116 万円
地方卸売市場事業	1,083 万円	1,068 万円
下水道事業	28 億 3,566 万円	28 億 3,198 万円
農業集落排水事業	8,606 万円	8,590 万円
小型自動車競走事業	77 億 86 万円	89 億 6,317 万円

基金残高

29 年度		28 年度	
決算年度末時 平成 30 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 平成 30 年 5 月 31 日現在	決算年度末時 平成 29 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 平成 29 年 5 月 31 日現在
102 億 2,652 万円	97 億 2,762 万円	90 億 5,359 万円	104 億 2,373 万円

※一般会計と特別会計すべての基金残高です。

地方債残高


	29 年度末	28 年度末
一般会計	354 億 4,491 万円	318 億 4,962 万円
特別会計	183 億 6,753 万円	190 億 2,466 万円
合計	538 億 1,244 万円	508 億 7,428 万円
市民 1 人あたり	約 85 万円	約 80 万円

※市民 1 人あたりの額は、それぞれの年度の 3 月 31 日現在の人口で計算しています。


[みんなのお金の使い道]




学校教育や文化、
スポーツのため
4 万 2 千円



ごみ処理や
環境を守るため
4 万 4 千円




市民の
健康を守るため
16 万 1 千円



消防や
防災対策のため
1 万 6 千円

一般会計の歳出額約 318 億円を
市民 1 人あたりで計算すると**約 50 万円**です。そのお金は次のように使いました。


※平成 30 年 3 月 31 日現在の人口
(63,313 人)で計算しています。



農林水産業、
商業のため
1 万 6 千円



道路、公園など
まちの整備のため
3 万 7 千円



その他
(市の運営など)
18 万 4 千円

用語解説



◦ 自主財源

市税や施設使用料など、市が国や県に依存することなく自ら調達することができる財源です。

◦ 依存財源

地方交付税や市債など一定の基準に基づき、国や県から交付される財源です。

◦ 地方交付税

市の財政力に応じて、国から交付されるお金です。

◦ 国庫支出金・県支出金

事業の財源として、あらかじめ使途が決められた上で、国や県から交付されるお金です。

◦ 市債

事業を行うために、市が国や金融機関から借り入れるお金です。

◦ 義務的経費

歳出のうち、その支出が義務付けられている経費です。この割合が高いほど、新たな事業などに使えるお金が少なくなります。

◦ 投資的経費

道路、橋りょう、学校、公共施設の整備等、将来に残るものに対して支出される経費です。

◦ 公債費

市債による借入金の元利償還金と一時借入金利子の合計額です。

◦ 物件費

施設の光熱水費や維持補修費、各種委託料などの経費です。

◦ 補助費等

一部事務組合等に対する負担金や各種公益団体に対する補助金などの経費です。

◦ 繰出金

一般会計から特別会計へ支出される経費です。